**タクシー破壊 ライドシェア**

白タク合法化を阻止しよう

不公正な競争で

仕事が奪われる

　ライドシェア（相乗り）という名の違法な白タク（無許可タクシー）を合法化しようという動きがすすんでいます。

　ライドシェアは、アメリカ生まれのウーバーやリフトという企業が世界各地で展開しているビジネスで、スマホアプリを介して一種免許のドライバーが自家用車で利用者を輸送するものです。わが国では道路運送法違反として認められていません。

　ＩＴ企業の楽天などがつくる新経済連盟は、2015、16年と続けてライドシェアの合法化を求める提言を出し、執拗に合法化を求めています。政府も安倍首相を筆頭に成長戦略・規制緩和の一環として規制改革推進会議





などで検討する動きをみせています。

　ライドシェアは、タクシーで義務付けられている労働時間管理や飲酒チェックもなく、運転者の身元もわかりません。事故時の補償も個人任せです。タクシーに適用されている規制を丸ごとすり抜けて、運行や雇用のコストをかけずに乗客を輸送して、仲介企業が手数料だけを吸いあげるしくみです。

　こんな不公正なやり方が認められたら、安全のためにコストをかけ、運転者を雇用しているタクシー会社は、安値のライドシェアに乗客を奪われて倒産、ドライバーは失業してしまいます。

　乗客の安心・安全も保障されない危険なライドシェアの合法化は絶対に認められません。

|  |  |
| --- | --- |
| *自 交 総 連*タクシー・ハイヤー、バス、自動車教習所の労働組合 | 〒110-0003　東京都台東区根岸2-18-2-201tel:03-3875-8071 email:info@jikosoren.jpホームページ　自交総連**←**検索 |

**ライドシェア運転者は個人事業者扱い**

無権利で何の保障もない請負労働

特定企業の利益のため

　ライドシェア合法化を主張す

る新経済連盟の代表理事は楽天

の三木谷浩史会長兼社長で、同

氏は2015年、ライドシェア企業

のリフトに３億ドルを出資、自

身がリフトの取締役に就任して

います。自分が出資した企業が

ビジネスチャンスを得るために

ライドシェア合法化を主張して

いるのです。

労働者の権利を奪う

　ライドシェア企業は、運転者

を雇用しているわけではありません。運転者は個人事業者（自営業）とされ、企業と個別に業務契約をするかたちになっています。

　実際の仕事は企業の支配下で、その指示通

りにやらなければならないのに、個人事業者にされると、労働者としての一切の保護や権利がなくなってしまいます。

　最低賃金、割増賃金、労働時間規制、有給

**ライドシェアに関わる事故・事件**

▲米・サンフランシスコで、ウーバーのドライバーが起こした死亡事故について、ウーバーが責任はないと主張

（2014.1.2 Tech Crunch）

▲インド・デリーで、25歳の女性に対する暴行容疑でウーバーのドライバーを逮捕

（2014.12.9 Huffington Post）

▲米・マサチューセッツ州で、女性客に現金を要求、暴行した容疑でウーバーのドライバーを起訴

　（2014.12.19 Ars Technica）

▲米・ミシガン州で、ウーバーのドライバーが乗客を乗せる合間に銃を乱射、６人殺害。このドライバーは「評価」が優良だった　　　　　　(2016.2.23 Tech Crunch)

　　　　　　　休暇、失業保険、社会保険の会社負担分、解雇規制もなく、突然契約を解除されても文句が言えません。労働者としての団結権や団体交渉権、団体行動権もありません。

　新経済連盟は、ライドシェアを「好きな時に働くことができる」「新たなライフスタイル」などといっていますが、権利も保障もない安上がりな労働力として企業に使われるだけです。

　アメリカでは、ウーバーの運転者が、自分たちを労働者として認めろと要求して集団訴訟を起こしましたが、ウーバーは労働者だとは絶対に認めないとして争っています。

　こんなひどい働き方をはびこらせてはなりません。